

第1回福島県水道ビジョン検討会 議事録

日時：令和元年11月25日（月）15：00～16：30

場所：杉妻会館2階「けやき」

【出席者】

（検討委員）

氏名	所属名等	出欠
今泉 繁	福島地方水道用水供給企業団 事務局長	出
岡部 光徳	古殿町長（福島県水道協会会長）	出
佐藤 英司	福島大学経済経営学類 准教授	欠
高橋 智之	会津若松市 水道事業管理者	出
田崎 由子	福島県消費者団体連絡協議会 事務局長	出
長岡 裕	東京都市大学工学部 教授	出

（事務局）

福島県保健福祉部健康衛生総室

次長 高野 武彦

保健福祉部食品生活衛生課

課長 渡部 誠二

主幹兼副課長 穴戸 正

主任主査 金成 徹

主査 渡邊 真樹

副主査 藤野 訓之

副主査 鈴木 貴士

【次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 座長選出
- 4 議題・・・（1）～（6）
- 5 閉会

【発言録】

○「1 開会」から「3 座長選出」までは省略。

○「4 議題」より

(1) 台風19号による水道施設の被害状況等について

(…事務局側別紙資料により説明…)

(長岡) それではただいまの説明に対して、質問や意見はありますか。

(岡部) 今回台風19号の災害を受けた中で、激甚災害の指定を受けたわけだが、災害復旧国庫補助事業の補助率が、下水道等の公共土木施設と比べると低いため、水道への対応がネックになっている。また、古殿町はいわき市の断水被害に対して、町からタンク車で水を送ってきた。東日本大震災の際も、2ヶ月ほど車も含めて給水に協力してきた。災害対応には理屈抜きでお互いに協力しなければならないと改めて感じた。

(長岡) 主な被害はやはり水没が多かったのですか。

(事務局) 主な被害は、河川の増水による施設の浸水と道路が流出したことによるものでした。主要な浄水場が水没する被害もありました。また、導水管や配水管が流されて断水になる被害もありました。

(長岡) 水道に携わっている者だと、災害時の管種ごとの被害が気になりますが、何か傾向はありましたか。

(事務局) 相馬市などは導水管が流されて大規模断水になりました。道路が流されて埋められていた水道管が露出した例も多くありましたが、露出し垂れ下がったままの状態です。断水を逃れた例も見られました。傾向として、やはり耐震化を進めていた管路は被害が少なく、断水まで至らなかったように思えます。

(高橋) いわき市の状況としては、夏井川の取水口が被害を受けて取水できなかったことも断水の要因となったという話でした。川の近くに取水口があるのでなかなか難しいですが、特に河川の場合は取水口の対策が必要だと感じました。会津若松市の場合だと、猪苗代湖という安定した水源がありますが、本市では、大川(阿賀川)にある取水口施設の川底が根こそぎえぐられるという被害を受けました。

(岡部) 地域によっては、老朽管の問題や石綿管の耐震化が進んでいない現状もある。そこには財政的に厳しいところもある。

(長岡) 財政面で耐震化が進まないという課題は、ビジョンの中にも触れられればと思います。

(今泉) 相馬企業団の方に伺ったら、ダクタイト管K型が古い型なのですが、そういったもので被害がでる。ダクタイト管でも抜け出し防止機能が付いているのであれば、被害は少なかったかもしれないので、耐震化の必要はあると思います。

(田崎) 消費者の立場としては、断水になった時に、改めて水の大切さを知り、水はやはり生命線だという意識を強く持ちました。

(今泉) 伊達市の梁川で水害がありました。水が出ないと浸水した住宅の洗い流しなどもで

きずに困ってしまうのですが、水道に被害がなくて本当に良かったという意見を聞きました。

(2) 福島県の水道の現状等について

(…事務局より別紙資料の説明…)

(長岡) それでは質問等ありますか。

(高橋) 説明で更新等が必要なのは分かりましたが、今後の水道で考えるべきことに温暖化の影響があると思います。会津若松市では、温暖化の影響もあり、ダムに藻類が増殖し、そこから取水する水のカビ臭の原因となっています。一度水に溶け出してしまったカビ臭は、急速ろ過だけでは簡単に除去できないので、そういった点で水質も課題の一つとなると思います。温暖化対策は、一つの自治体だけでは解決しないので、県も含めた新たな課題として取り組まなければいけないのではないかと思います。

(長岡) 今の事務局の説明は耐震化や経営面から見たものが多かったですが、水質関係も課題として取り上げるなど、幅広い視点から水道事業について考えるのも大切です。

(今泉) 安全な水を安定して供給するのは重要なことで、温暖化の影響を危惧しているところです。摺上川ダムでも温暖化で降雪量が少なくなり、夏場に貯水量が少なくなる。さらに、夏場に大雨が集中すると、取水する水の濁度が高い状態が続いてしまう問題もあります。藻類の発生によるものも含め水質の低下は、水道に対する信頼の低下にもつながる問題です。

(長岡) 降雨の状況やダムへの影響は、今後50年先のことを議論する上で、温暖化問題として重要なテーマだと思います。

(岡部) 水道料金が高いという説明もあったが、簡易水道では一般会計からの繰り入れを行わないと経営が立ちゆかない場面もある。1立方で100円として一度試算してみたところ、現在の7.5倍に水道料金を上げないと採算性がとれないとでた。どこまで消費者にさせられるのか、とても難しい問題です。

(長岡) 事務局説明では、給水単価等の全体ベースの資料が多かったですが、ぜひ今後は個別のデータなども扱って議論していきたいと思います。個別の危機的な状況も取り残さないように見ていく必要があると思います。

(今泉) 資料の中で、福島県の水道料金の平均が全国より高いと出ていましたが、できれば「なぜ高いのか」まで書いてほしいと思います。単純に福島の水道は高い、だけではなく高いなりの理由も入れてほしい。

(事務局) 補足説明させていただきます。全国平均より水道料金が高い理由の一つには、福島県には中山間地域が多く水の生産コストがどうしても高くなってしまふことが上げられます。都市部であればスケールメリットによりコストを下げるのが可能となりますが、山間部の多い福島では比較的水道料金が割高になってしまいます。

(長岡) 一人あたりの管路延長などの指標も利用して、コストが高いことを丁寧に説明してほしいと思います。

(田崎) 上水道がメインですが、下水道もどう考えるのか。都市部では下水道も整備されト

イレなどが節水型になっている。人口あたりの水使用量が減っており、それが経営を圧迫していると思うと矛盾も感じてしまう。

(長岡) あくまで上水道がメインですが、ユーザーの視点からだと下水も切り離せないので、補足的に取り上げられれば参考までをお願いします。

(岡部) 下水道の料金は自治体によって考え方が様々だということも補足したいと思います。

(3) 水道法の改正等について

(…事務局より別紙資料の説明…)

(長岡) 県の広域化への役割が大きくなっている中で、このビジョン検討会のような機会も重要になってきていると思います。

(岡部) 国が示している広域化は全国一律の考え方で、給水人口の多い地域と少ない地域では合致しない部分もある。町村レベルでは規制緩和なども含めて広域化も2段階くらいに基準を設けてもらわないと対応が厳しい。統廃合なども町村レベルでは厳しいところがある。また、民営と公営でいえば極論すれば民間は利益重視、私たちはサービスの観点で捉えているので料金も低く抑えている、単純にならして議論はできない。

(長岡) 経営統合だけでなく広域化も緩やかなものもあるので、そこも意見をだしていかなければならないと思います。コンセッションなども、色々と意見あるので、どのようにビジョンに入れるか、私も悩ましく思っています。

(高橋) 広域化推進プランを県で作成し、基盤強化計画に繋げていくとありますが、広域化についての県の考え方を知りたいです。

(事務局) 広域化推進プランについては公営企業の経営合理化の観点で総務省から厚労省と連名で作成についての通知が出ています。県では広域化推進プランは市町村財政課がメインで当課と一緒に取り組んでいます。これから1月くらいに地方毎の検討会を開催する予定で、各事業体の考えを聞いていくところです。

(長岡) 意見を聞くのも大事なことですが、県としての広域化への考え方をある程度示してもらったほうが、第2回の検討会とのスケジュールとも関わるが、どのような考え方を県が持っているのか検討しておいた方が良いと思います。

(事務局) 方部ごとの検討会とは別に書面等でも意見を聞いていく予定であります。

(今泉) 県の役割が明確になったのが大きいと思います。基盤強化への支援としての県の立場が重要で水道ビジョンにも反映してくるのかなと思っています。国から基盤強化するよういわれるなかで、自分の所だけで一杯いっぱいになってしまう所を県に全体を見た中で考え方を示してもらえると助かります。

(岡部) 今時点で指定給水装置施工業者の資格を持っている人の立ち位置は今後どうなるのですか。入札など行う上で位置づけ等はどのようになるのでしょうか。

(事務局) 市町村等で工事を行うに当たって、登録されていないと工事ができない状況とな

ります。今後は5年ごとに更新することになります。今回の法改正での問題意識は、給水装置施工業者が工事後に音信不通になり消費者が不利益を受ける事例等があったため導入されたものです。

(岡部) 免許の更新については基礎自治体で判断しても良いと思っている。更新にも費用がかかるので、小さな町で経営している業者は、事業所の維持も大変な状況だということがあります。ちょっとした意見として述べました。

(長岡) 下水道は更新制になっています。改定の際に関わった者ですが、宅内配管を施工してもらえないとか、料金の問題などが全国の事例として出ていました。

(田崎) 説明資料の29ページに苦情件数と出ていますが、具体的には何かありますか。

(事務局) 当県の事例ではないですが、管理者不在や誤接合があった時に業者をたどれなかったなどの事例があります。具体的には間違った工事があった時に施工業者が連絡取れず苦情となった部分が多いと考えられます。

(4) 福島県水道ビジョンの概要について

(5) 福島県水道ビジョンの策定スケジュールについて

(…事務局より別添資料について説明…)

(長岡) 4の水道ビジョンとその他の関係のところ、広域連携については水道ビジョンで大枠を示して、具体的なところは広域化推進プランで別におこなうという整理でよいですか。

(事務局) 水道ビジョンの中ではどういった方策が圏域毎にあるのか、という大枠を検討します。具体的な点については広域化推進プランで検討を行います。

(長岡) 大枠は水道ビジョンで行い、具体的な部分を広域化推進プランで行う、これが水道基盤強化計画の間に入ってくるということですね。他にご意見ありますか。

(高橋) 県の計画の進め方で基盤強化の柱は分かりましたが、今回の災害でいわき市の平浄水場ひとつで4万5千戸の断水があったということを考えると、これはもう水道はライフラインの基本中の基本だという視点で考えてほしいと思います。そこは消費者の方にも理解してもらいたい。ペットボトルの水では生きていけないわけで、水道はライフラインの基本だということを強く感じます。

(長岡) その視点は重要で、おそらくビジョンの最初の部分で取り扱わなければならないと思います。

(岡部) 高橋委員の基本姿勢にプラスする形で発言します。今回の台風19号の被害を受けた現状を把握した中で、そういった被害がまた起こらないように対策を考え、それをビジョンに反映させていかなければならないと思います。

(今泉) ビジョンの成果を上げるためにはPDCAサイクルが必要だと思います。まずは現在の水道ビジョンの評価検証がされているのかどうかです。また、県民にとっても大事なライフラインである水道をわかりやすく伝えられる良い機会なので、わかりやすいという点

で具体的な数値目標が出されていれば、途中途中で達成度も分かるので、良いのではないかと思います。

(事務局) 現在の水道ビジョンの評価検討は次回の検討会で触れたいと思います。現在のビジョンではあまり具体的な数値について触れられていなかったということもあります。

(田崎) 使用者としては「安定的」という言葉もあると良いなと思います。

(長岡) 昔のビジョンには安定という言葉は使われていたのですが、今は「強靱」とか「持続」のなかに安定の意味が含まれてきているのかと思います。

(長岡) 佐藤委員からの意見は皆様に配られているので、ご覧になってください。要約すると IoT の活用、広域連携は地域的なことを考慮する、官民連携についてはどこまで何をやるのか考えてほしいということだと思います。

(長岡) 私からの意見としては、今後事業体からの意見を伺っていくということですが、それを踏まえつつも、県には是非リーダーシップを発揮してほしいということです。

以降は事務連絡～閉会